

(別紙様式)

# 中山間ふるさと・水と土保全対策事業 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

## 事業実施計画

計画期間：令和2年度～令和6年度

(令和2年度)

### 計画内容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業計画
3. 事業実施の成果目標と実績
4. 事業評価と対応

徳島県

1. 事業実施の基本方針

目標年度	令和6年度
現状と課題	本県の中山間地域では、日本の棚田百選に選定されている「上勝町椋原の棚田」、「三好市下影の棚田」を初めとする美しい棚田が多数存在している。一方で、過疎化、高齢化、それに起因する担い手不足、集落機能の低下、鳥獣被害の頻発、耕作放棄地の増加等が著しく進行している。このような現状の中、低下しつつある地域コミュニティを活性化するとともに、土地改良施設及びこれと一体的に保全することが必要な農地の有する多面的機能の良好な発揮が課題となっている。
事業実施の基本方針	本県においては5つのターゲットを定めた「『未知への挑戦』とくしま行動計画」を策定し、そのターゲットの一つに「『笑顔とくしま・県民活躍』の実装」を掲げ、「未来ある農山漁村づくり」の実現を目指している。また、平成21年4月「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本条例」を制定し、本県農林水産業の特徴的な発展と農山漁村の活性化を図ることとしており、この「地域政策」として本県の特徴を生かした魅力あふれる農山漁村の活性化を、「協働政策」として県民等の参画及び協働による潤いと安らぎのある農山漁村の保全を掲げている。これらを基本的な方向として、県内中山間地域の農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図ることを目的とし、本計画を策定する。
計画後の目指す姿	本県の中山間地域では、豊かな地域資源を活かし、それぞれの地域が独自の個性を発揮し、多様な共生と対流による地域活性化が図られている。また、継続した農業の営みにより、「安全・安心な農作物を作る」という生産活動とともに、農地や土地改良施設等が適切に管理され、洪水や土砂崩れなどの防止、地下水の涵養等、多面的機能が持続的に発揮されている。

2. 事業計画

事業（取組）名	事業（取組）内容	達成すべき目標との関連	事業実施要綱上の該当項目	5ヶ年間の事業（量）内容	総事業費			
未来へ「つなぐ！」 農山漁村（ふるさと） 元気づくり事業	土地改良施設や農地等の保全及び農村地域の活性化の推進に資することを目的として、ふるさと水と土指導員が農山漁村地域において行う活動に係る経費について上限10万円で補助金を交付する。	③	ふる水 第3-2-(2) 棚田 第3-2-(2)	ふるさと水と土指導員が取り組む活動について、5ヶ年で75件支援する。	1,500			
	農山漁村の「住民自ら」が加速的に解決する「魅力向上・地方創生のモデル」づくりを行うため、地区住民手づくりの「魅力創生ビジョン」の作成からその実践まで一体的な「パッケージ」として支援を行う。	④、⑤	ふる水 第3-2-(1) 第3-2-(2) 第3-2-(3) 棚田 第3-2-(1) 第3-2-(2) 第3-2-(3)	住民自らが考え行動し、農山漁村づくりに取り組もうとする地域を対象に、アドバイザーを派遣し、5ヶ年で15地区において「魅力創生ビジョン」を作成する。また、ビジョン作成地区を対象に、実現するための取り組みを支援することで、ビジョンの早期実現を図る。	8,700			
	地域貢献したいという志を持つ都市部の大学・企業・NPOと協働パートナー協定を結び、農山村地域の要請に応じて応援活動を展開する。	⑥	ふる水 第3-2-(3) 棚田 第3-2-(1) 第3-2-(2) 第3-2-(3)	増え続ける農山漁村地域からの応援要請に対応するために、協働パートナー協定を5ヶ年で84団体（累計）と締結する。	6,430			
	棚田保全団体や関係機関等の連携・情報共有を図るため、「とくしま棚田ネットワーク」を設立し、棚田保全に関する事業を展開する。		ふる水 第3-2-(1) 第3-2-(2) 第3-2-(3) 棚田 第3-2-(1) 第3-2-(2)	「とくしま棚田ネットワーク」のホームページ作成、5ヶ年で5回のフォトコンテスト開催、VRプロモーション映像の制作等による棚田地域のPR事業、棚田台帳作成、棚田地域活性化シンポジウムの開催、棚田保全に係る住民の棚田サミットへの参加支援等に取り組む。	5,340			
中山間むらづくり調査事業	中山間地域の土地改良施設や農地を整備・保全するために必要な調査を行い、地域活動等の活性化を図るための計画を策定する。	①	ふる水 第3-2-(1)	5ヶ年で10地区の調査を実施する。	3,000			
ふるさと水と土指導員全国研修会派遣・県内研修会開催	ふるさと水と土基金全国研修会に指導員候補者を派遣するとともに、県内研修会を開催し、新たな地域づくりの手法や指導員間の情報交換を図ることで指導員を育成。	②	ふる水 第3-2-(2)	特に若い人材を積極的に掘り起こし、研修会等において現在の指導員の方が培ってきたノウハウを共有することで、5ヶ年で5人の地域リーダーを育成し、地域活性化活動の推進を図る。	770			
ふるさと・水と土保全対策懇話会の開催	保全対策の内容を評価し、その意義を広く県民に対し周知する。		ふる水 第3-2-(3)	毎年1回開催する。	137			
農林漁業体験推進事業	農林漁業体験のできる「とくしま農林漁家民宿」等に対する受入体制の整備を支援し、都市と農山漁村との交流を促進する。		ふる水 第3-2-(3)	農林漁業体験のできる「とくしま農林漁家民宿」等に対する研修やPRを行う。	773			
啓発推進事業	中山間地域の多面的機能を地域住民及び県民に周知し、全対策の必要性をPRする。		ふる水 第3-2-(3)	中山間地域への対策についてまとめたパンフレットを、5ヶ年で5回作成・周知する。	430			
鳥獣被害予防・ジビエ認証取得推進事業	鳥獣被害の軽減を図るため、総合的な鳥獣被害対策を実施する「被害ゼロ集落」の育成、モンキーダッグの導入を支援するとともに、ジビエ処理加工施設におけるHACCPに基づく衛生管理に推進等を行う。		ふる水 第3-2-(3)	毎年度、各地域で鳥獣被害対策研修会及び対策に係る取組を実施する。	6,000			
「とくしまの棚田」情報発信事業	「とくしまの棚田ホームページ」や様々な機会を活用して、県内外の棚田地域をはじめとする中山間地域の情報を収集・発信し、一般県民の関心を高める。		棚田 第3-2-(1)	とくしまの棚田ホームページにおいて、5ヶ年で250回の情報発信を行う。	477			
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
中山間ふるさと・水と土保全対策事業（ふる水基金）	計画事業費	18,340	17,740	17,740	17,740	17,740		
	（実績額）							
中山間ふるさと・水と土保全推進事業（棚田基金）	計画事業費	15,217	12,067	12,067	12,067	12,067		
	（実績額）							

### 3. 事業実施の成果目標と実績

達成すべき目標	指標	基準値	目標値	年度ごとの実績					達成度	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
① 中山間地域の多面的機能の良好な発揮に資する調査研究の実施と結果の活用	調査研究の実施によるデータの蓄積	28地区	38地区							
② ふるさと水と土指導員の育成	ふるさと水と土指導員の登録数	55名 (累計)	60名 (累計)							
③ ふるさと水と土指導員による地域活性化活動の推進	ふるさと水と土指導員活動支援事業の採択数	87件	162件							
④ 地域の魅力向上や「地方創生」のいち早い実践の推進	中山間地域における魅力創生ビジョン作成地区数	15地区	30地区							
⑤	棚田の保全・活用における取組支援数	11件	46件							
⑥ 多様な主体の協働による農山漁村の保全活動の推進	農山漁村（ふるさと）協働パートナー協定数	71協定 (累計)	84協定 (累計)							

#### 4. 事業評価と対応

達成すべき目標	事業実績の評価		備考
	外部有識者の所見	所見を踏まえた改善方針	
① 中山間地域の多面的機能の良好な発揮に資する調査研究の実施と結果の活用			
② ふるさと水と土指導員の育成			
③ ふるさと水と土指導員による地域活性化活動の推進			
④ 地域の魅力向上や「地方創生」のいち早い実践の推進 (中山間地域における魅力創生ビジョン作成地区数)			
⑤ 地域の魅力向上や「地方創生」のいち早い実践の推進 (棚田の保全・活用における取組支援数)			
⑥ 多様な主体の協働による農山漁村の保全活動の推進			